



わが「TT9」にして初めての「窓モノ」、キハ20系がようやく製品になった。思えば、いくつかの製品企画はしてきたものの、いろいろな理由で市販にはいたらず、われわれにしてみれば本当によろしくという思いが強い。オオノの力作のキハ82先頭部や窓も開いていないEF58の先頭ブロックなどが、その過程を物語っている。

さて、できあがったキハ20系、まずはキハ20型、キハ25型それぞれの200番代の車体キットが発売になった。いうまでもなく、キハ20系の後期型、その両運転台と片運転台の代表的2題、ということになるだろうか。いつもなら下周りからつくろうか、上周りからつくろうかという、嬉しい悩みがあるのだが、車体キットとあらば有無はあるまい。キットは真鍮エッチング+プレス加工の車体、ロストワックスの先頭部分と小物、それに洋白エッチングの窓枠、ドアなどといった構成。

つくっていく手順は、大きいモノから小さいモノへ、というのがひとつのセオリーだが、車体内側にドア等のパーツを半田付するのには、先頭部分がついていない方がコテが入りやすくいい。細く仕上がっているドア裾を曲げてしまいたくないこともあって、まずはドアから付けていこう。エッチング・アソートのなかからドアを切り離す。この切断は「ハサミ」がいい。ニッパー様のものを使うと横方向に力が掛かって部品を曲げてしまうことがある。どうしてもニッパーの場合は、部品より先に周囲のランナー部分に切り込みを入れておくのがいい。切り離れたドアは、下揃えでそれぞれの位置に半田付する。まず、チョンと付けて位置決めし、ゆがみ等を確認めた上でしっかりと半田で留める。ただし、手すりの孔を埋めぬよう。

ところで、きちんと塗装仕上げする人は、塗装後にアルミサッシ色の窓枠を付けるようオススメするが、塗装嫌いのイノウエの場合は、なにはともあれ真鍮ボディを完成させたく、ドアにつづいて窓枠も取り付けしてしまう。ドア窓枠を含め、繊細なキハ20系の窓の雰囲気絶妙に再現されていて、思わず自画自賛（いや、基本的に設計したのはオオノだから身内礼賛）してしまいそうになる。車体との合いも文句はない。車体中央には床板取り付けのための床板受けが付くが、これは半田でしっかり留めておきたい。その位置決めが窓枠に付いているので、窓枠を塗装に付ける人もいったんセロテープ等で仮止めし、床板受けはしっかり半田付。

ここで、ドア周りの手すりを付けておきたい。添えられている0.3mm真鍮線を使うが、手すりを曲げるためのジグが窓枠の付いていたランナー部分に設けられている（大丈夫？ 捨ててないでしょうね）。キハ20型では16本、キハ25型では12本。一気につくってしまった方がばらつきが少ないだろう。もっとも、数本余分をつくっておいて、いいものを使う手もある。基本的にドア部分も小孔がよく揃っていて、ほとんど問題なくスイスイと作業できるが、キハ20型はちょっと手が掛かる。トイレがあるために、片方の運転台が狭く、そのために手すりを1本、ロストワックスの前面部分に付けなくてはならないのだ。いや、実は気分的にいやな感じがしていたのだが、実際にロストに孔を空けるのは思いのほか面倒ではなかった。とはいえ、0.3という細いドリルをピンバイスでキリキリ空けていくのは慎重さだけは要求される。これがあるので、運転室ドア部分の手すりは前面取り付け後にしてもいい。

前面取り付け前に手すりの室内に飛び出した部分だとか、半田跡だとか、仕上げておくのがいい。もうひとつ、ドアの知らせ灯の孔を0.8mmドリルでさらしておくことを薦める。そして前面を半田付するのだが、いや、このサイズにしては

とんど修正の必要がないほどにピタリと決まるのは気持ちいい。車体のプレス加工はお馴染みアダチ製作所さんなのだが、さすがの出来だ（加工賃もなかなかなんですがね：泣）。たっぷり半田を流せば、さすが真鍮車体、とんでもない剛性感が漂よう。キハ 25 型の運転台のない端面は車体にはめ込むようにして半田付。

あとは細かいヴェンティレーターだとか排気管、発煙筒といった小物を付けていく。排気管なども細かくロストで拘るのはオオノ作品らしいところ。これらは軽く付けて、ゆがみなどを直し、しっかり本付け、という手順が基本。最後に雨トイを付けるのだが、ここでオオノのちょっとしたアイデア。シール材を線通りに切って車体に貼り付けて位置決めをする。イノウエにとって一番嫌いな寸法だし、ケガキといった作業が軽減、しかも正確にできるのは嬉しいところだ。すんなり雨トイを付けて、最後に知らせ灯を内側から付けて、もう完成。それこそ土曜半日の楽しい作業に終始する。なお知らせ灯は窓ガラスのプラ板厚は含まれていないから、プラ板のその部分には 2mm ほどの孔を空けておく必要がある。

こののち、床板 + 床下器具の「下周りセット」、台車 + 動力装置の「台車動力セット」、また付随車用の「台車セット」が順次発売される予定。それまでに数両分の車体をつくり貯めておくのはいかが？